

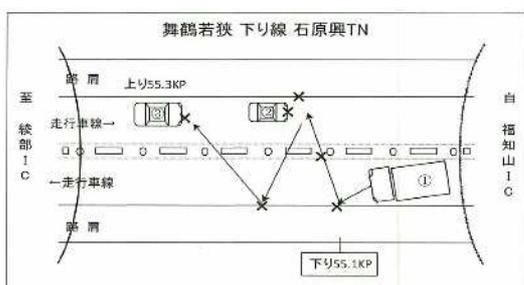
# ■ 更なる安全性の向上

- 交通事故が発生した場合、暫定2車線区間は4車線区間に比べて、死傷事故となる割合が高く、事故発生時に通行止めとなる割合も高くなっています。
- 4車線化により中央分離帯を設置し、対向車線への飛び出しを防止することで、安全性の向上が図られます。

## ● 舞鶴若狭道の対向車線への飛び出しによる交通事故事例（平成29年7月）

発生場所）舞鶴若狭道（福知山～綾部） 暫定2車線区間

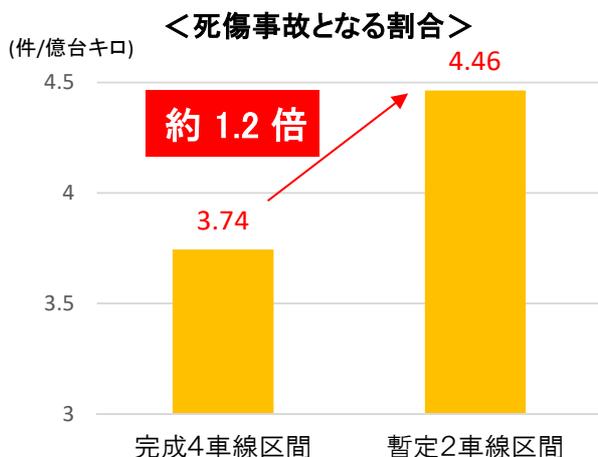
事故概要）大型貨物車が対向車線に飛び出し乗用車と衝突



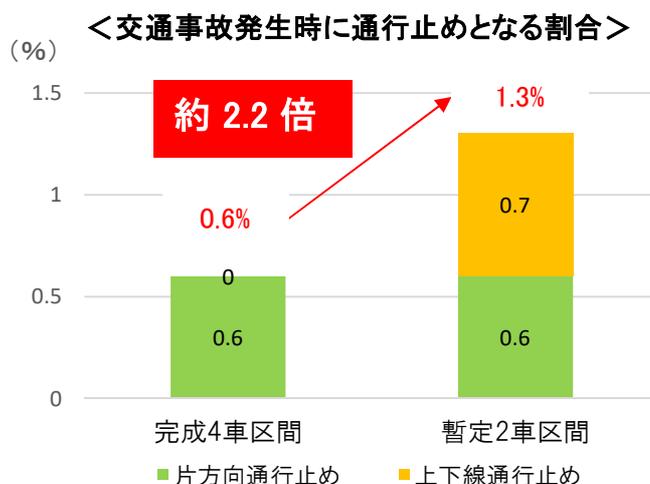
この事故により  
乗用車及び大型貨物車の運転手2名が負傷  
約4時間の通行止め



## ● 舞鶴若狭道の暫定2車線と完成4車線区間の比較



割合：総死傷事故件数/億台キロ  
対象は舞鶴若狭道 吉川JCT～小浜IC間  
完成4車線区間（吉川JCT～福知山IC、綾部IC～綾部PA）  
暫定2車線区間（福知山IC～綾部IC、綾部PA～小浜IC）  
出典：NEXCO西日本調べ（集計対象：H25～H29）



割合：通行止めを伴う事故件数/総事故  
対象は舞鶴若狭道 吉川JCT～小浜IC間  
完成4車線区間（吉川JCT～福知山IC、綾部IC～綾部PA）  
暫定2車線区間（福知山IC～綾部IC、綾部PA～小浜IC）  
出典：NEXCO西日本調べ（集計対象：H25～H29）